

会員数 40,055 (前月比) + 106  
郵送 9,250 (前月比) + 82  
手配り 28,747 (前月比) + 5

協同基金到達額 2,562,213,000円(10/31現在)  
[前月比 6,259,000減]

協同基金出資者数 20,834名(10/31現在)  
いのちを守る助け合い募金額 1,685円(10/1~31)



# 市民の命を守ることを最優先に

堺社保協  
自治体キャラバン



10月15日 堺市と懇談

緊急事態宣言が解除され、今年も堺市本庁と懇談することができました。

時間と人数の制限の中で、要望内容を絞り込んだりとの懇談となりました。コロナ感染対策では、「感染が少し落ち着いている今こそ、広くPCR検査を実施して、早期発見、追跡、隔離など、感染源を抑えることが重要。今がチャンスなのだ」と再三強調し、堺市独自の施策を要望しました。

障害の分野では、コロナ感染で居宅事業など、経営的に苦しい中で、「報酬の確保と補助金などの申請は、分かりやすくしてほしい」「ワクチン接種についても援助の必要な人が多いので、会場や時間の工夫など、対応してほしい」と要望。国民健康保険問題では、「滞納世帯に対して発行して

いる資格証明書でも、病气など、特別事情があるときは、速やかに短期保険証を発行してほしい」と耳原総合病院で実際に起こっている事例を訴え、強く改善を求めました。

しかし、「資格証明書になるまでに、面談などで役所に相談にきてほしい」と国保課長。この答弁に対して「滞納している者にとつて、役所に行くことのしんどさがあなたは、分かっている」「何のために、国の通知が出ているの

か」と冷たい対応の国保については、毎回、緊張が走ります。

その反面、今回の懇談では嬉しいこともありました。介護事業については、「引き続き専門職による介護事業は続ける」と明言され、拍手が起りました。

懇談を終えて、やはり時間が足りないということ、そして国保課とは別途で懇談をもつ必要があるということを感じています。

(堺社保協推進協議会  
事務局次長 南波 和代)

## 要望事項 (抜粋)

1. 災害や感染症対策として市民の命を守る医療体制を
2. 高すぎる国保料を引き下げてください
3. 介護保険料を引き下げてください
4. 少人数学級の実現や子ども医療費の完全無料化、中学給食を小学校のような完全給食に
5. 障がい者が安心して暮らせる地域を
6. 生活保護は、必要な時にすみやかに利用できるようにしてください

## みみはらグループの介護・福祉の担い手育成のために

### 介護職員初任者研修

「高齢になっても住み慣れた街で自分らしく暮らしたい」という願いに応えるために、利用者さんの立場に立ち、質の高い介護を提供していく介護職の確保は、重要な課題です。

みみはらグループの「NPO法人結いの会ともつぎ」では、介護の仕事をはじめチャレンジする方を対象にした介護



職員初任者研修(旧ヘルパー2級講座)に取り組んでいます。2013年

から開講している本講座ですが、今年度は早くから申込みが殺到、あっという間に20人の定員が埋まり9月11日からの毎週土曜日、全14回にわたって、介護の理念や人権、日常生活の介護サービスの知識と実践を学んでいます。



ベッドからの移乗



車イス介助



障がい模擬体験



血圧測定体験

はいかない「エッセンスヤルワーカー」によって支えられています。今年も昨年に続き、コロナ禍の中での開講となりましたが、経験豊富な講師陣の指導のもと、感染対策

つつの介助などを学習。模擬体験では、「片麻痺の方の状態や気持ちがあった」「紙パンツを着用することで、どんな気持ちになるのかが理解できた」「普段では経験することがない学習ができて良かった」などの感想が寄せられました。

この講座を通して、高齢者や障がい者の人権と尊厳を守り、生きる意欲や希望を引き出しながら、その方の人生に寄り添える介護職としての学びを深め、12月には受講者全員が無事に資格を取得することが目標です。

## 聴診器

先日、「友の会」の会員さんたちも、「自粛で動けなくなってきたら、体力が落ちた」「つま

ずきやすくなった」との声があがってきていると耳にした。コロナが広まり始めたころ、「自粛が1年も続けば、フレイルサイクルに陥る人が急増し、新たな社会問題に発展するのでは」と予想されていた。この半年、外来でも同じ会話が飛び交っている。早急に打開するみちを考えないと▼フレイルは病名ではなく、介護が必要な状態になる手前の黄色信号の状態を指す。心身の活力(運動機能や認知機能など)が低下した「虚弱」な状態を指し、多くは「フレイルを経て要介護状態に進む」と考えられている。が、適切な対処で充分取り戻せる状況がフレイル▼筋力低下などの身体的要素、認知症やうつなど、精神的・心理的要素、独居や経済的厳しさが影響し合っている▼フレイルが進むことをフレイルサイクルと呼ぶ。新型コロナは、外出自粛、経済の停滞、感染への恐怖など、この3つの側面すべてを強めているのは、読者も実感されているのではないかと▼「友の会」では、フレイル健診も始めている。食べることに動くことを含めた体調回復について、気軽に相談に乗れる体制づくりを外来で考えていきたい。ぜひ、皆さんから切実な声をお聞かせください。(緒方浩美)